

# 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ				
題名・副題	手作り顕微鏡でミクロの世界をのぞいてみよう（細胞編）				
月日・時間	1月18日（土） 10:00～12:00				
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 2階・実験室				
部会・講師名	廃棄物部会・自然環境部会 石井 栄	参加数	3名	講師数	4名
写真					
	たまねぎの皮でプレパラートをつくる	葉の裏をはがして気孔を見てみよう			
					
	細胞はどのように見えるかな？	テレビの画面も顕微鏡で見ってみました			
成果解説	<p>この教室は、植物の体を作っている細胞について学び、その形を自分で作った顕微鏡で観察したり、他のいろいろな細胞や花粉、気孔などの観察を通して、ミクロな世界の不思議さ、精巧さ、生き物の大切さ、などを学んでもらうことが目的。</p> <p>始めに、ものを大きくしてみるために、虫眼鏡や顕微鏡があること、そこに使われているレンズの働きを、自分の目で確かめてもらいました。レンズや水滴で、光の屈折を確かめたり、ビー玉の大きさで、見える大きさが変わることを確かめました。次に、顕微鏡の筒を組み立てて、ビーズ・レンズをはめ込んだあと、透明なプラスチック板でプレパラートを作りました。被写体として、玉ねぎの薄皮をプレパラートに貼る作業、ジャガイモのでんぷんをプレパラートにつける作業などを行いました。「ちゅらら」という沖縄の植物の葉から薄皮をはがして、プレパラートを作り、気孔も観察してもらいました。最後にまとめとして、細胞について、植物と動物の違い、生物多様性などをスライドで説明しました。子どもたちは顕微鏡を作って植物観察を体験し、細胞について楽しく学びました。</p>				